

## 退任ご挨拶

東京教区主教 主教 植田仁太郎

この度、日本聖公会の定めによる定年退職の時期より、半年ほど早く、教区主教を退任させていただくことになりました。昨年から二回ほど、会議中に倒れ、緊急入院する事態となり、みな様にご心配をおかけすることになってしまいました。検査の結果、決定的な病因は確定できないようですが、全般的には高血圧症と加齢による一過性の血栓が見られるようです。血圧を上げることがないようにするのが、第一の注意点のようです。血圧・血管のための数種の薬を服用しております。

みな様にご迷惑をおかけすることになった二度の入院と静養の間に、主教職が負うべき身体的・精神的持久力と集中力が大幅に欠けてきてしまったことを、大変恐ろしいことであると自覚するに至りました。年初以来、近くで私の仕事を補ってきて下さった方々も、同じ観察をしていらっしゃるでしょう。後任教区主教が着座されるまで、みな様には、いずれにしてもご迷惑をおかけすることになりますが、しばらく、管理主教の任をお引き受け下さる廣田北関東教区主教のもとで、通常の教区・教会の営みを続けていただきたく望み、また祈るものです。

これまで、教区主教在任中お寄せ下さったみな様のお支えとお祈りに深く感謝申し上げます。主教職をになう者として誠に不十分な私を許し、励まし、ご理解下さった方々みな様に御礼申し上げます。

退任後の新たな生活を整え、健康への心配が減じました暁には、再び日本聖公会の一隅で、何かお手伝いできることがあれば、と念じております。教区・教会でのみな様の変わらぬご奉仕に感謝しつつ…、また私をお用い下さった神さまへの深い悔改めと感謝をもって…。